

# 平成23年度第2回印西クリーンセンター環境委員会 会議録（概要版）

1. 期 日 平成23年9月2日（金）午後8時～午後10時  
2. 場 所 印西地区環境整備事業組合3階大会議室  
3. 委員出欠状況  
☆甲（11名中 10名出席） ☆乙（25名中 19名出席）  
☆傍聴者 6名 ☆事務局 2名

## 会議次第

1. 開会
2. 議長選出（乙側委員）
3. 議事録署名人の選出
4. 事務局長あいさつ
5. 報告事項

（1）印西クリーンセンター操業状況について

### 表—1（ごみの搬入量及び焼却量）

- ・平成23年4月のごみ搬入量は、3,527トン（うち事業系829トン）、ごみ焼却量は、3,455トン
- ・平成23年5月のごみ搬入量は、4,122トン（うち事業系954トン）、ごみ焼却量は、3,049トン
- ・平成23年6月のごみ搬入量は、3,853トン（うち事業系823トン）、ごみ焼却量は、3,272トン
- ・平成23年7月のごみ搬入量は、3,692トン（うち事業系873トン）、ごみ焼却量は、3,927トン
- ・平成23年4月から7月のごみ搬入量合計は、15,194トン（うち事業系3,479トン）ごみ焼却量は、13,703トン

表—2（排ガス測定）・7月21日（2号炉）の測定結果は、すべて協定値の範囲内

表—3（騒音・振動測定）・8月25日に測定しているが結果がでていない。

表—4（悪臭物質測定）・8月24日に測定しているが結果がでていない。

表—5（臭気濃度測定）・8月24日に測定しているが結果がでていない。

表—6（処理水の水質測定）・7月21日の測定結果は、不検出及びダイオキシン類については規制値の範囲内

表—7（大気測定車による測定）・7月25日から8月25日まで実施していましたが結果はまだでていない。

表—8（排ガス中の重金属の測定）・7月21日に測定しているが結果がでていない。

表—9（ごみ質分析）

- ・平成23年5月20日に行った結果は、紙類34.0%、厨芥類7.9%、布類6.2%、草木類25.2%プラスチック類10.9%、ゴム類0.5%、金属類1.0%、ガラス類0.0%、セト物・砂・石8.7%、その他5.6%、水分47.0%、見掛比重0.163kg/l、低位発熱量1,750kcal/kg

搬入車両数と搬出車両数、残灰量の推移

（搬入車両数）4月3,428台、5月3,687台、6月3,528台、7月3,522台、4月から7月までの計は1万4,165台で、前年度の同時期と比較して、3.74%の増。

（搬出車両数）4月147台、5月138台、6月129台、7月122台、4月から7月までの計は536台、前年度の同時期と比較して9.63%の増。

（残灰量の推移）

- ・焼却灰 20年度6,357トン、21年度が6,215トン、22年度6,106トン、前年比増減率は21年度では-2.23%、22年度では-1.75%。

### 【質疑応答】

[乙委員] 可燃ごみを燃やした場合に残る灰の量というのはどれくらいですか。

[甲委員] 前年度で15%です。

[乙委員] 今年の7月のごみ焼却量が搬入量よりかなり多いのはなぜですか。

[甲委員] 7月からの節電に向け、5月、6月でごみを溜めて、焼却量を多くして、発電を稼ぐためです。

[乙委員] ごみ質分析の草木類が25.2%と多いのはなぜですか。

[甲委員] ごみピットの中からごみを抽出した結果がこれになり、すべてこの割合で入っているわけではなく、今回の最終的な理由は分かりません。

6. その他

【質 疑】 補助燃料の使用量、エネルギー収支、エネルギー起源及び非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量、休炉事故・故障、休炉の実績等、余熱利用実績について

[甲委員] 平成22年度は年間3万8,681.77トンの焼却量で、11万5,638.9トンの蒸気が発生し、その38%を発電用として使っていて場内全体の電力量の約60%を発電で賄っています。

エネルギー起源二酸化炭素については組合全体で原油使用量が年間1,259.3キロリットル、非エネルギー起源CO<sub>2</sub>は2万2,000トン、メタン(CH<sub>4</sub>)・一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)については681トンとなっています。

休炉の事故・故障については1月6日から2月22日まで1号炉の定期修理、1月31日から3月25日まで2号炉の定期点検補修、9月21日から11月5日まで3号炉の定期修理を行っています。

【質 疑】平成22年度第4回印西クリーンセンター環境委員会に提出した印西クリーンセンター3号焼炉増設工事に関する談合事件に関する要望書の回答について

[事務局] 平成23年4月13日に出されました文書で一旦、お答えしておりますが、裁判の進捗状況につきましては、4月22日に第1回の口頭弁論があり、第2回の口頭弁論につきましては、期日等が決まっております。

【質 疑】次期中間処理施設整備の説明会の開催結果

[甲委員] 次期中間処理施設用地の選定に係る経過の平成22年8月、熱供給検討結果報告にある印西市②の具体的な数値はということですが、地域冷暖房事業者と比較検討をお願いした結果、数値的に印西市①と比較しますと、二酸化炭素削減量では現在地は、年間3,567トン、印西市②は、3,943トン削減できるとの試算があります。また、エネルギーの削減量は、印西市①と比較して、現在地では原油換算で年間1,569キロリットル、印西市②では1,733キロリットル削減できるとの試算結果でした。

また、建設予定地が決定してから広報、説明会を開催するというのは住民参加と矛盾しているのではないかとご質問でございますが、これまで一応の決定に至るまでの情報をすべて公開してまいりました。

今後につきましても環境影響評価等を行いまして、明らかにしながら住民の皆様にはご理解をいただきたいというように考えております。

[乙委員] 第2回建設予定地の説明会をいつやるのかお聞きしたい。

[甲委員] 大塚地区につきましては、管理者、副管理者、あと自治会と日程の調整しております。

【質 疑】主灰と飛灰の放射性セシウムの件

[甲委員] 当組合では1回目といたしまして、主灰は2,270ベクレルパーキログラム、それから飛灰につきましては、1万3,970ベクレルパーキログラムという測定結果がでており、現在はこのクリーンセンターの場内で飛灰を保管しているところでございます。7月の下旬ごろからは8,000ベクレルパーキログラムを下回る数字が得られたため、混合灰によるリサイクル事業を開始しております。

[乙委員] 今クリーンセンターに仮保管されている放射能の高い焼却灰は何トンあり、これからどうするのですか。

[甲委員] 今現在、116トンありまして、セメント固化後、最終処分場での水にさらされない形での処理をした後埋め立てるという手法が国から示されております。

[乙委員] 地元の了解はこれから取りつけるのでしょうか。

[甲委員] 現時点においては組合の最終処分場で最終的な保管をするという決定はしていません。

[乙委員] 震災後3月末からの、特に飛灰、焼却灰や混合灰は測定しているのでしょうか。

[甲委員] 震災後3月と4月分については測定をして、次回に報告できるようにしたいと思っております。

【質 疑】印西クリーンセンターの2011年度予算の説明

[甲委員] 印西クリーンセンターの2011年度予算の説明ということで、主な項目ですけれども、本年度の点検、補修費総額予算は約4億4,000万円、運転管理予算は約2億3,000万円、薬品の予算は約5,200万円計上しております。

【質 疑】平成23年度印西地区ごみ処理実施計画の説明

[甲委員] 平成23年度につきましては、資源物を含む一般廃棄物の総排出量を5万2,180トンと見込みまして、それに係る収集、運搬した中間処理最終処分、それぞれの処理実態、処理方法について定めてあります。一般廃棄物の総排出量ですけれども東日本の大震災の影響により49.95トンが加算されることになるのかと思われます。

【質 疑】家庭系一般廃棄物に事業系廃棄物が含まれているか否かの確認を行っているか。

[甲委員] 収集については、事業系廃棄物、産業廃棄物を搬入しない仕様で契約を締結しています。

それから、搬入許可証での搬入についても、市あるいは町の許可をとってきているものですので、事業系の廃棄物が混入していないと理解しており、工場内での確認は行っていません。

【質 疑】機種選定委員会は今年度から始めるのか。また、住民参加はないのか。

[甲委員] 機種選定委員会につきましては、今年度その施設の基本設計を開始する予定でございますので、その中で学識経験者を主体とした選定委員会を設けていきたいと考えておりますが、リサイクルプラザの構成の部分は住民主体の委員会ということで、今は考えております。

## 7. 閉会

[事務局] 本日はお忙しい中をご出席いただき、ありがとうございました。

次回、第3回の委員会ですが、開催の時間については12月3日土曜日の午前10時から正午までこの会場で開催を予定しておりますので、ご出席のほう、よろしく願いいたします。

以上をもちまして第2回環境委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。